

西宮市教育委員会説明資料

『公民館等における各種講座等の取組』

西宮市教育委員会 地域学習推進課

【青年生活学級】

対象者	①18歳以上の知的障害のある青年 ②同じ社会人として、ボランティアで参加し、共にふれあい、共に考えたいと考える市民
協力団体	・ボランティアグループ「雑草」 ・本人活動「ヤゴの会」
開始年度	昭和48(1973)年度
経緯	昭和47(1972)年度：・西宮市立勤労青少年ホームのカウンセラー・巽幸一氏が2人の知的障害のある勤労青年と出会う。 ボランティア人形劇グループが主体となり、「つくし会」を発足。勤労青少年ホームで活動。 ・知的障害児の保護者による「西宮市手をつなぐ親の会」、社会教育課、浜脇公民館の3者で、障害児学級卒業生の居場所づくりについて話し合う。教育委員会から「つくし会」を青年学級として開講するよう提案。 『障害のあるなしに関わらず、青年のための余暇活動』としてスタート。 昭和48(1973)年度：第1回「西宮青年生活学級」鳴尾公民館で開講。 学級生、ボランティア含めて30人が参加。 昭和53(1978)年度：鳴尾公民館主催事業に。 ★この頃より学級生の増加が著しく、年齢や障害の幅も広がる。 平成12(2000)年度：中央公民館主催事業へ。
概要	◆目的 ・レクリエーション活動を通してさまざまな生活体験をしながら学習すること。 ・中学校障害児学級卒業生等が、障害を克服し、やる気をもって社会参加すること。 ・障害者の教育を受ける権利を保障し、可能性を伸ばすこと。 ★各行事の内容を学級生が意見を出し合って決定。行事当日もできるだけ学級生が主体となって取り組むことを重視。 ★障害の程度が比較的軽い学級生たちが、青年生活学級以外でも活動することを目的に「ヤゴの会」結成。行事の司会など、中心的な役割を担っている。 「ヤゴの会」自分たちで決めて、自分たちで活動。H29年度は12人。 『靴ひもがほどけたら、自分で結ぶまで待ってください。』 ◆募集状況 兵庫県立阪神特別支援学校、兵庫県立こやの里特別支援学校、兵庫県立芦屋特別支援学校の3校の卒業生に対し、案内を送付している。

予算	<p>■平成 29（2017）年度 報償費：325 千円（講師謝金）、旅費：63 千円（行事下見）、 需用費：60 千円（賞状用紙等消耗品）、役務費：375 千円（郵便料） 使用料：581 千円（バス借上料他） ★行事にかかる費用は本人負担。（飲食代、施設入館料など）</p>
参加者数	<p>■平成 29（2017）年度 ・実施 11 回 ・学級生 231 人 ・登録ボランティア 26 人 ・参加のべ 1,557 人（保護者・ガイドヘルパー 含む） ★開始当時（昭和 48 年）と比べて、学級生・参加のべ人数が 10 倍以上に増加。</p>
成果	<p>・長い年月の活動の積み重ねから、学級生自身が自分たちの学級として認識し、自分たちで決めて活動するという意思の発露が見受けられる。 また、障害の軽い学級生の中から青年生活学級以外でも活動しようというグループ（ヤゴの会）ができた。（昭和 56（1981）年 9 月発会） ・「あなたは芸術家」行事から「鳴尾スーパーつかげすむしバンド」が結成される。（平成 24（2012）年 甲東ホールでコンサート開催） ・学級生の家庭状況が垣間見えることがあり、福祉サービスにつなげることもある。</p>
課題	<p>・学級生が年々増加傾向にある一方、ボランティアの数が圧倒的に不足。 ・新規登録したボランティアの指導・サポート体制整備が困難。 ・公民館担当職員の不足（現在 2 名で担当）。 ・グループ「雑草」メンバーの高齢化、若手が育っていない。 ・市内の知的障害のある青年全員には、案内が送付できていない。</p>

（参考資料）

○ 学級生の年齢構成（平成 29（2017）年度 参加者名簿より）

	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代
ゆっくりコース	3 人	14 人	21 人	21 人	21 人	10 人	3 人
はつらつコース	6 人	27 人	20 人	32 人	4 人	0 人	0 人
合 計	9 人	41 人	41 人	53 人	25 人	10 人	3 人

○ 療育手帳の等級の状況（平成 29（2017）年度 参加者名簿より）

	A	B 1	B 2	不明
ゆっくりコース	47 人	34 人	11 人	1 人
はつらつコース	64 人	20 人	4 人	1 人
合 計	111 人	54 人	15 人	2 人

平成29年度 西宮青年生活学級 年間行事予定表『ゆっくりコース』

★日時・会場などは変わる場合があります。毎月の「おしらせ」を注意して読んで下さい。

★8月行事・12月行事については、後日詳細が決定しましたらお知らせします。

★【選択】については、裏面の説明をよく読んで下さい。

つき／日	曜日	じかんたい 時間帯	ぎょうじないよう 行事内容	かいじょう 会場
5/21	日	午後	開講のつどい (はつらつコースと合同)	なるおこうみんかん 鳴尾公民館
6/18	日	午後	ニューススポーツ体験	なるおたいいくかん 鳴尾体育館
7/9	日	ぜんじつ 全日	日帰りバスツアー (はつらつコースと合同選択)	きょうとほうめん 京都方面
8/6 (予定)	日	はんいち 半日	ボーリング(午前) / プール(午後) (はつらつコースと合同選択)	なるおこうみんかん 鳴尾公民館 / なるおしょうがっこう 鳴尾小学校プール
9/3	日	ぜんじつ 全日	日帰りバスツアー (はつらつコースと合同選択)	あかし・こうべほうめん 明石・神戸方面
10/1	日	ぜんじつ 全日	体を動かそう (はつらつコースと合同)	みてい 未定
11/19	日	ぜんじつ 全日	バーベキュー大会 (はつらつコースと合同)	ふるーつふらわーぱーく フルーツフラワーパーク
12/17	日	はんいち 半日	クリスマス会(午前) / 忘年会(午後) (はつらつコースと合同選択)	みてい 未定
1/21	日	ごぜん 午前	成人式&新年のつどい (はつらつコースと合同)	なるおこうみんかん 鳴尾公民館
2/18	日	午後	あなたは芸術家	なるおこうみんかん 鳴尾公民館
3/18	日	ぜんじつ 全日	閉講のつどい&話し合い (はつらつコースと合同)	なるおこうみんかん 鳴尾公民館

平成29年度 西宮青年生活学級 年間行事予定表『はつらつコース』

★日時・会場などは変わる場合があります。毎月の「おしらせ」を注意して読んで下さい。

★8月行事・12月行事については、後日詳細が決定しましたらお知らせします。

★【選択】については、裏面の説明をよく読んで下さい。

つき／日	曜日	じかんたい 時間帯	ぎょうじないよう 行事内容	かいじょう 会場
5/21	日	午後	開講のつどい (ゆっくりコースと合同)	なるおこうみんかん 鳴尾公民館
6/18	日	午前	ニュースポーツ体験	なるおたいいくかん 鳴尾体育館
7/9	日	全日	日帰りバスツアー (ゆっくりコースと合同選択)	きょうとほうめん 京都方面
8/6 (予定)	日	半日	ボーリング(午前) / プール(午後) (ゆっくりコースと合同選択)	なるおこうみんかん 鳴尾公民館 / なるおしょうがっこう 鳴尾小学校プール
9/3	日	全日	日帰りバスツアー (ゆっくりコースと合同選択)	あかし とうべほうめん 明石・神戸方面
10/1	日	全日	体を動かそう (ゆっくりコースと合同)	みてい 未定
11/19	日	全日	バーベキュー大会 (ゆっくりコースと合同)	ふる つばらわ ぱく フルーツフラワーパーク
12/17	日	半日	クリスマス会(午前) / 忘年会(午後) (ゆっくりコースと合同選択)	みてい 未定
1/21	日	午前	成人式&新年のつどい (ゆっくりコースと合同)	なるおこうみんかん 鳴尾公民館
2/18	日	午前	あなたは芸術家	なるおこうみんかん 鳴尾公民館
3/18	日	午前	閉講のつどい&話し合い(午後) (ゆっくりコースと合同)	なるおこうみんかん 鳴尾公民館

『公民館等における各種講座等の取組』

西宮市教育委員会 地域学習推進課

【手話講座（入門・基礎）】【ボランティア養成講座】

対象者	<ul style="list-style-type: none"> ◆手話入門 手話の学習が初めての西宮市在住・在勤・在学の人 ◆手話基礎 手話入門講座を修了した人で全国手話検定 4 級以上取得の人 ◆初級点訳 点訳初心者で西宮市在住の人（在勤・在学の人 優先） ◆要約筆記啓発 聞こえのサポートについて学ぶ西宮市在住・在勤・在学の人
協力団体	<ul style="list-style-type: none"> ◆手話（入門・基礎） 西宮市聴力言語障害者協会 ろうあ部会 ◆初級点訳 中公点訳グループ ◆要約筆記啓発 西宮市聴力言語障害者協会 難聴部 要約筆記サークル 西宮ペンの会
開始年度	昭和 50（1975）年度
経緯	<p>当時の公民館重点目標の一つである障害者教育の推進により、障害者対象の学習会のほかに一般市民に対して障害者への理解を深める学習会を全公民館で開設。</p> <p>昭和 52（1977）年度から公民館主催事業。</p>
概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆手話（入門・基礎） <ul style="list-style-type: none"> ・入門編：初歩的な手話を覚えて会話を楽しむと同時に、聴覚障害者への理解を深める。 ・基礎編：さらなる技術の習得をめざし、手話の基本文法を学習する。 ◆初級点訳・要約筆記啓発 基礎的な知識や技術を学びながら、視覚障害者、聴覚・言語障害者についての理解を深める。

<p>予算</p>	<p>■平成 29（2017）年度</p> <p>◆手話（入門・基礎） 委託料：684 千円（内訳：講師謝金@11,000×37 回、スタッフ謝金@1,113×37 回他）</p> <p>◆初級点訳 報償費：210 千円、委託料：6 千円（内訳：印刷費 4,500 円、切手代 500 円他）</p> <p>◆要約筆記 委託料：212 千円（内訳：講師謝金、情報保障等 210 千円、消耗品 2 千円）</p>
<p>参加者数</p>	<p>■平成 29（2017）年度</p> <p>◆手話入門 ・実施 20 回 ・受講生 32 人 ・参加のべ 667 人</p> <p>◆手話基礎 ・実施 17 回 ・受講生 19 人 ・参加のべ 324 人</p> <p>◆初級点訳 ・実施 10 回 ・受講生 18 人 ・参加のべ 187 人</p> <p>◆要約筆記啓発 ・実施 6 回 ・受講生 5 人 ・参加のべ 67 人</p>
<p>成果</p>	<p>公民館が実施した手話講座や点訳講座の受講生の中からグループが生まれ、自主的・積極的に活動している。</p>
<p>課題</p>	<p>・講座終了後、活動を継続してもらえるか、受講生本人の意思に任せている部分が多い。</p> <p>・市長事務局の障害福祉課でも同様の講座を開講しており、そちらへの移管を考えている。</p>

『公民館等における各種講座等の取組』

西宮市教育委員会 地域学習推進課

【青い鳥学級】（兵庫県教育委員会委託事業）

対象者	西宮市・芦屋市・尼崎市在住の義務教育修了年齢以上の視覚障害者
協力団体	中公点訳グループ
開始年度	昭和 45（1970）年度
経緯	阪神南の 3 市が輪番制で事業を担当。 運営委員会を組織し、事業の承認や意見をもらう。 平成 25（2013）年度までは中央公民館が担当。 その後、社会教育課へ移管。
概要	・社会人としての幅広い教養や実用的な知識・技能等を習得すること。 ・広く県民との交流の場を通して相互理解を深め、ともに生きる喜びを創造すること。
予算	■平成 28（2016）年度 県委託金：144,500 円（内訳：報償費 110,000 円、需用費 18,500 円 役務費 10,000 円、使用料及び賃借料 6,000 円）
参加者数	■平成 28（2016）年度 ・実施 3 回 ・学級生 28 人 ・介助者 20 人（ボランティア 0 人）
成果	体感できる内容にすることで、参加者も盛り上がり、大勢で楽しむという体験ができた。
課題	・県の委託事業を輪番制で行うため、課題が見つかったも次年度へと引き継ぎにくい状況にある。 ・事業計画書の提出が年度の始めの方（5 月中）であるため、運営委員会で事業内容を協議する時間が取れない。 ・また、日程が厳しいため、運営委員会が運営に携わる機会がない。 ・学級生が参加するのみで「お客様状態」になっている。参画になっていない。

【参考】阪神南青い鳥学級西宮教室 事業実施例

○8月3日（水）10時～12時（2時間）

会 場 西宮市総合福祉センター

時間割	学習内容	講師・指導者
1	開講式	
2	講演会「あなたに似合う服の選び方」	ファッションアドバイザー 佐々木 志都

○9月12日（月）12時～16時30分（4.5時間）

会 場 神戸てっちゃん工房

時間割	学習内容	講師・指導者
1	体験学習「ちくわとかまぼこつくり体験」	カネツ 神戸てっちゃん工房

○9月26日（月）10時～12時（2時間）

会 場 西宮市総合福祉センター

時間割	学習内容	講師・指導者
1	身体を動かそう！「軽体操と的当てゲーム」	西宮スポーツセンター スポーツ指導員 4名
2	閉講式	

※ 参加者 28名（内、修了者 25名）

『公民館等における各種講座等の取組』

西宮市教育委員会 地域学習推進課

【くすの木学級】（兵庫県教育委員会委託事業）

対象者	西宮市・芦屋市・尼崎市在住の義務教育修了年齢以上の聴覚・言語障害者
協力団体	西宮市聴力言語障害者協会 ろうあ部会 西宮手話サークル連絡会 要約筆記サークル 西宮ペンの会
開始年度	昭和 45（1970）年度
経緯	阪神南の 3 市が輪番制で事業を担当。 運営委員会を組織し、事業の承認や意見をもらう。 平成 27（2015）年度までは中央公民館が担当。 その後、社会教育課へ移管。
概要	・ 社会人としての幅広い教養や実用的な知識・技能等を習得すること。 ・ 広く県民との交流の場を通して相互理解を深め、ともに生きる喜びを創造すること。
予算	■平成 27（2015）年度 県委託金：115,000 円（内訳：報償費 110,000 円、需用費 4,000 円、 役務費 1,000 円）
参加者数	■平成 27（2015）年度 ・ 実施 4 回 ・ 学級生 35 人 ・ 介助者 0 人（ボランティア 0 人）
成果	参加型の講座を多くすることで、参加者も積極的に取り組む姿が見られた。
課題	・ 県の委託事業を輪番制で行うため、課題が見つかったも次年度へ引き継ぎにくい状況にある。 ・ 情報保障のための通訳者を、委託料が減少しているため、十分な人数を派遣することが難しい。 ・ 日程が厳しく、実際は、運営委員会が運営に携わる機会がない。 ・ 学級生が参加するのみで「お客様状態」になっている。参画になっていない。

【参考】阪神南くすの木学級西宮教室 事業実施例 ※学級日誌より抜粋

○10月4日（日）10時～14時30分（3.5時間）

会 場 西宮市立中央公民館

出席者 午前：29名、午後：27名

時間割	学習内容	講師・指導者
1	開講式	
2	健康講座「プロに教わる姿勢バランスケア」	整体療法士 関山 初己
3	体験学習「絵手紙をはじめよう」	公民館グループ 悠々の会

※午前中の健康講座では、普段の姿勢や呼吸が身体の不調を招くという講義を聞いた後、改善するためのセルフマッサージを実践した。講義終了後も講師へたくさんの質問があり、積極的に受講していた。

○11月29日（日）10時～15時30分（5時間）

会 場 西宮市立中央公民館

出席者 午前：28名、午後：26名

時間割	学習内容	講師・指導者
1	料理実習「兵庫県の特産品を知って使っておいしく食べよう」	兵庫栄養製菓専門学校 准教授 富川 美紀
2	講演「天国からの手紙～人生を笑顔で過ごすエンディングノート～」	行政書士 生島 清身
3	閉講式	

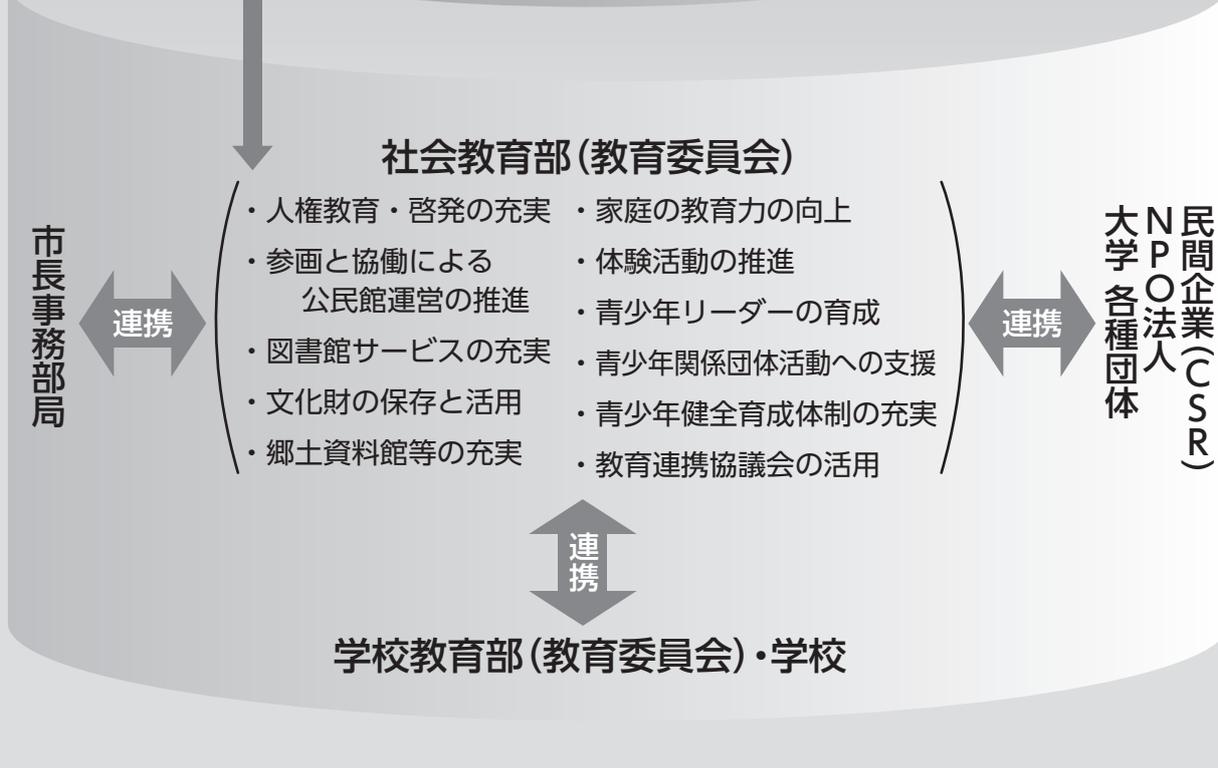
※午前の料理実習では、兵庫県の特産品について学んだ後、一人ずつ巻き寿司を作り、にゅうめん・デザートとともにみんなで食べた。参加者から、料理実習は交流も図りやすく、楽しく取り組めるので今後も取り入れてほしいと意見があった。午後のエンディングノートの講演は、難しかったという感想が多かった。より身近なテーマの方が参加者にも最後まで興味を持って受講していただけるようである。

【西宮教育の基本理念と「教育振興基本計画」の範囲及び具体的施策の関連表】

西宮教育の基本理念	西宮市における「教育振興基本計画」		具体的施策（「推進の方向」の各項目と一致）
	政策	施策	
夢はぐくむ教育のまち西宮	いきがい つながり	①人権問題の解決	人権教育・啓発の充実
		②公民館・図書館機能の充実	参画と協働による公民館運営の推進 図書館サービスの充実
		③芸術・文化の振興	文化財の保存と活用 郷土資料館等の充実
	すこやか はぐくみ	①家庭教育の支援と青少年の健全育成	家庭教育の向上 体験活動の推進 青少年リーダーの育成 青少年関係団体活動への支援 青少年健全育成体制の充実
		②学校教育の充実	カリキュラム・マネジメントの確立 キャリア教育の充実 国際教育の推進 情報教育の推進 特別支援教育の推進 基礎学力の向上 学習評価の充実 道德教育の推進 人権教育の推進 生徒指導の充実 健康教育の推進 体育指導の充実 つながりによる教育の推進
		③信頼される学校づくり	自主・自律の学校経営 学校評価の活用 教師の資質向上 学校研究の推進 教育連携協議会の活用
		④計画的・効率的な学校施設運営	児童・生徒急増対策 学校施設の耐震化 学校施設整備

西宮市の社会教育（生涯学習）

学びを通じた豊かな地域づくり



2 公民館・図書館機能の充実 (1) 参画と協働による公民館運営の推進

取組みの重点
参画と協働による運営を推進し、地域団体・福祉関係団体等の活性化を図る

公民館が、地域住民主体の生涯学習施設として、また地域活動の拠点として機能するよう地域参画による運営の活性化を更に進めるとともに、住民との協働による主催事業や活動推進員会事業を充実させる。また、生涯学習の推進のため、グループ活動を支援するとともに、施設整備を行い、様々な世代や利用目的に対応した学習環境の整備に努める。

施策の現状と課題

公民館は、地域に密着し、地域住民の学習ニーズや生活課題に対応した学習支援を行うため、主催事業として福祉、青少年、ボランティア育成等の課題に関する講座を住民と協働により実施している。また、活動推進員会講座として地域から選出された公民館活動推進員が、地域に関わる課題解決を目的とし、講座を企画・運営している。このような講座運営のほか、生涯学習の場を提供し、定期的なグループ活動を支援している。

今後は、生涯学習を通して住民同士のつながりを深め、地域課題の解決に努めながら自己実現と豊かな地域づくりにつなげるという、公民館活動の意義や役割をより明確にし、公民館をより地域に密着した、利用しやすい施設にすることが求められる。公民館の使用区分を細分化した後の空き区分の有効活用や、地域の活性化につながる公民館運営を進める必要がある。また、老朽化した施設への対応が急務となっている。

具体的施策の内容

施設の利便性向上と有効活用
【中央公民館】(重点)

利用者の視点に立った弾力的な運営に努め、身近に集える親しみやすい施設を目指して、学習活動に関する情報提供を進める。

利用者の利便性向上を図るため、平成28年9月から実施した使用区分の細分化により、空いた使用区分の有効活用を図るため、子供や子育て世代等の新たな利用者層への広報に努める。

個人での予約申込及び生涯学習事業者等に対する使用基準の緩和等、公民館の更なる活用策を推進し、引き続き稼働率の向上を図る。更に、各公民館に設置された公民館運営協議会による地域の声を反映した公民館運営を推進し、地域活動との連携を深める。

公民館施設の整備・保全
【中央公民館】(重点)

地域の社会教育施設やコミュニティ形成の拠点として、公民館の施設・設備を良好な状態に維持し、地域住民の学習活動を支援するため、必要な維持補修、修繕を行う。

ア 学習環境等の向上

多様な学習内容に対応できるよう付帯設備や備品の整備に努めるとともに、特別な用事がなくても訪れ、憩うことができる「居場所」となるようロビー等の環境整備に努める。

イ 施設・設備の更新

施設設備について、老朽化した実習室の設備更新工事、トイレの洋式化工事、エレベーター及び空調設備の計画的な改修工事を実施する。また、越木岩公民館等の公共施設が設置されている越木岩福祉会館の安全対策及び機能向上に参画する。

参画と協働による主催講座の実施

【中央公民館】

市民の多様化する学習ニーズや必要課題に的確・迅速に応えるよう、関係機関や NPO 法人等との連携・協力を図り、市民の参画と協働による講座等を実施する。

ア 福祉関連学習事業

障害のある人のおかれている状況を正しく理解し、共に生き、共に学ぶ社会を目指し、関係団体と協働して手話講演会や青年生活学級（知的障害者主体の学習活動）を運営する。

イ 情報関連学習事業

ICT（情報通信技術）社会に対応するため、ボランティアグループ「公民館パソコンおたすけ隊」の協力を得て、誰でも気軽にパソコンの操作やトラブルなどについて相談できる場を運営する。

ウ 青少年事業（宮水ジュニア事業）

子供たちの休日の過ごし方への対応として、小学校 4 年生から中学生を対象とした文化的講座「宮水ジュニア」事業を運営し、異年齢集団の中での仲間づくりや多様な体験学習の機会を提供するとともに、成果発表と広報の場として宮水ジュニアまつりを開催する。内容については、専門知識を持った地域住民だけでなく、公民館グループ・NPO 法人の協力を得るなど地域の教育力を生かしながら、子供たちの選択の幅が広がるよう講座内容を充実させる。また、比較的参加率の低い中学生や障害のある子供たちが参加しやすいテーマの選定と講座づくりに努める。更に、受講生に対して宮水ジュニアまつりのスタッフとして、参画を呼びかける。

エ ボランティア育成事業

関係団体と連携し、手話や要約筆記等、多様なボランティアの育成と活動の促進を目指した養成講座を運営する。また、公民館定期使用グループなどに「宮水ジュニア」事業のボランティア講師としての参加を呼びかけ、生涯学習の成果の社会への還元を促進する。

地域住民主体による学習の推進

【中央公民館】

地域課題の掘り起こしとその自主的解決を図ることを目的として、地域住民が主体的に講座の企画・運営を行う公民館活動推進委員会を側面から支援する。公民館としては、推進員が活動しやすい条件整備に取り組むとともに、より効果的な研修、情報交換や交流の場の提供に努め、その公民館活動推進委員会の活性化を図る。

また、地域活動として行われている推進員活動の現代的な意義について理解を深め、地域活動諸団体との連携及びネットワーク化を促進するなど適切な支援に努める。

グループによる自主的な活動の支援

【中央公民館】

市民文化の振興を図るとともに、その学習の成果が地域で生かされるよう、公民館で活動するグループに対して市民文化祭や地域活動への参加を呼びかける。

「公民館活用促進プロジェクト」により、グループ活動のきっかけづくりをサポートする。

指標名	指標の説明	単位	実績及び見込み数値					H30
			H25	H26	H27	H28	H29	目標値
集会室稼働率	公民館の活用状況を測るため	%	43.8	43.5	43.9	39.4	44.0	45.0
	集会室の稼働率を指標とする	達成率(%)	97.3	96.6	97.5	87.6	97.7	100.0



人権フォーラム講演会
「夢をあきらめない」
講師：石黒 由美子さん



市民文化祭（中央公民館）



宮水ジュニア「日本舞踊」講座



「公民館活動推進員会研究集会」
各公民館の推進員が集まり、公民館講座の
企画・運営等について実践報告や
情報交換、意見交換を行う。



西宮青年生活学級月行事
「6月選択行事『からだを動かそう』」



西宮浜公民館推進員会講座
「男の料理教室」